



## 美浜発電所1号機の新燃料輸送（搬出）について

2021年4月19日

関西電力株式会社

当社は、2017年4月から美浜発電所1号機の廃止措置を開始していますが、このたび、発電所に保管していた新燃料集合体の一部を、下記の通り米国の燃料加工メーカーに輸送（搬出）しました。

### 記

#### 1. 輸送行程

2021年3月31日20時00分 美浜発電所 発

2021年4月17日07時45分 米国 Framatome Inc.  
(現地時間:2021年4月16日15時45分着) リッチランド工場 着

#### 2. 輸送数量

新燃料集合体 12体 (輸送容器 6個に収納して運搬)

#### 3. 輸送物の種類

A型核分裂性輸送物

#### 4. 輸送方法

陸上輸送および海上輸送

以上

#### <参考資料>

- 『輸送における安全性について』

<参考資料>

『輸送における安全性について』

1. 輸送物の種類

A型核分裂性輸送物

2. 輸送容器の概略

型式：MFC-1型・・・6個

形状：円筒形

寸法：全長 約5m

外径 約1m

重量：約3.8トン（輸送容器だけで約2.8トン）・・・6個

材質：鋼鉄製

3. 輸送物の安全確認

本輸送物については、別添に示す国の安全基準を満たすことを、原子力規制委員会により確認されたものです。

4. 輸送上の安全対策

輸送にあたっては、車両の積付け・標識等、輸送上の十分な安全対策を実施しております。

なお、万一緊急の事態が生じた場合にも、最寄りの消防、警察、自治体および官庁等に連絡するとともに、適切な措置をとることとしており、十分な安全対策を講じることとしております。

以上

## 別 添

## 「A型核分裂性輸送物の安全基準」

「核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律」第59条に基づき、国が定めているA型核分裂性輸送物に係わる技術上の基準の主なものは、以下の通りである。

- ①線量当量率 : 表面で2mSv/h以下  
表面から1m離れた位置で0.1mSv/h以下
- ②表面密度限度 :  $\alpha$ 線を放出する放射性物質の場合、 $0.4\text{Bq/cm}^2$ 以下  
 $\alpha$ 線を放出しない放射性物質の場合、 $4\text{Bq/cm}^2$ 以下

また、A型核分裂性輸送物の試験条件には、

- ①一般の試験条件：水の吹きつけ試験  
自由落下試験  
圧縮試験  
貫通試験
- ②特別の試験条件：9m落下試験  
棒上の1m落下試験  
耐火試験  
浸漬試験

があり、これらの厳しい諸条件下においても、容器の健全性を維持し、臨界に達することがないように、法令の基準値を満足している。

以 上